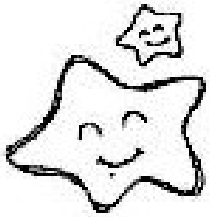
QSK(にぬふぁぶし) 1997 年 9 月 18 日 第三種郵便物承認　通巻 7810 号 2022 年 6 月 16 日 発行　(1)
（毎月 1.2.3.4.5.6.7 がつく日）

QSK にぬふぁぶし

No.304

子（ね）の方向の星（北極星）



読谷村家族会が沖縄タイムスの取材を受けました

コロナによって、家族会活動もさまざまに変化を始めています。

読谷村精神療養者家族会では、沖縄タイムスの助成金事業を使ってノートパソコンを購入しました。

各種の研修会もいまはオンライン配信が主流になっています。以前は県外研修といえば、特に沖縄にいると旅費やスケジュールの心配が先立ちましたが、インターネットの活用により、いながらにしてさまざまな情報に触れられるようになったことは、活動の可能性を大きく広げるものと感じます。これまでになかったようなつながりを得ることも、きっとできるのではないでしょうか。

オンラインで県外研修

読谷村精神療養者家族会

助成金でパソコンを購入した読谷村精神療養者家族会の会員ら＝14日、同村社会福祉協議会

約30年前に発足した読谷村精神療養者家族会（當山幸子会長）は現在、会員が約20人。毎月の定例会やイベントなどを通して交流を深めている。

助成金で購入したパソコンを使い、３月は宮崎県で開かれた精神保健福祉研修会に会員４人がオンラインで参加。「定例会の資料作成などでも使い、助かっている」と當山会長は話す。

毎月第２木曜に開く定例会で、今後のイベントや互いの近況を確認する。月に１回、計５回に分けて毎年実施している学習会では、心の病や家族の向き合い方などを学び合う。会員以外も参加でき、正しい理解や新会員加入のきっかけの場となっている。

當山会長は「家族が孤独にならないようにつながっていきたい。悩んでいる人に一人でも多く会員になってもらい、仲良く、楽しく、元気にやっていきたい」と語った。

（中部報道部・伊集竜太郎）

沖縄タイムス 2022 年 4 月 28 日（木）

第47回 部落解放・人権西日本夏期講座のご案内

日時： 6 月 9 日（木）12:30～16:50　／　6 月 10 日（金）9:30～12:30
会場： オンライン ZOOM
（※那覇文化芸術劇場を予定していましたが、変更になりました）

9 日　講演 1「基地から漏れ出す PFAS 沖縄で放置される環境汚染」
講演 2「沖縄で考えるジェンダー平等」
10 日　講演 A１「沖縄戦の遺骨収集「ガマフヤー」が伝えたいこと」
講演 A２「尊厳ある医療環境を求めて～精神障害者、高齢者の社会的入院を問う」
講演 B１「人権教育・啓発の進め方～学校・地域を中心に」
講演 B２「差別解消・被差別連帯の道のり―部落問題入門」

お問い合わせ先（一社）部落解放・人権研究所 部落解放・人権西日本夏期講座事務局
TEL06-6581-8576　FAX06-6581-8540　メール nishinatsu@blhrri.org